



年も改まり、いよいよ本格的な寒さになりました。

インフルエンザやノロウイルスなどが、流行する季節です！！北九州地域でも徐々に流行の兆しが見えてきました。先日もノロウイルスによる大規模な集団食中毒が発生したばかりですね。厳しい衛生管理が行われていても、隙をついて起こってしまいました。



私たちも他人事ではありません。日々、患者さんと接する仕事です。ウイルスと接触することも多いはずです。

この機会に感染対策について再確認してみてもいいでしょうか？自分の身を守るのはもちろんのこと、院内感染を引き起こさないために、手洗い、手指消毒、検査室の清掃、感染性廃棄物の処理、感染患者さんの撮影の手順など、見直してみませんか。

《記：さたけ》

最近、全国的に不妊治療で有名な市内の産婦人科医院で「卵子若返り」の新技术を開発したという新聞記事を目にしました。ちょうど同じ頃、女性の年齢と「妊孕（にんよう）性」について正しく知る事の大切さという記事（月刊母子保健）に出会いました。とても興味深く読ませていただきましたので、皆さんにも紹介させていただきます。[記：おかざき]



『これから求められる性教育・健康教育』 から

「妊孕性」という言葉、私も初めて目にしました。妊娠しやすさ、妊娠する能力といった意味で使用するそうです。記事を掲載した産婦人科医師である鴨下桂子先生は、女性の社会進出に伴って初産年齢も上昇し、不妊に悩む時期も高齢化しているというのです。先生は不妊予防を目的とした啓蒙活動が重要と考えて、女子高校生やその母親、また男子学生を含む大学生への講演を行っています。その中で、必ず初めに「妊娠は奇跡の連続で成立することであり、当然の現象ではないという前提で命の大切さそのものであること、不妊症があっても決して不思議ではない。」と伝えます。そして、妊娠できる年齢には限りがあるという正しい知識を持った上で産まない決断をすることと、知らないで産めないのはまったく違うということを強調し、正しい知識のもと自分のライフプランを構築する大切さを教えているそうです。（私は息子たちにも教えたいと思います。）

次回の会誌発行に合わせて、女性技師の方々へアンケート調査を実施したいと考えています。調査へのご協力をお願いいたします。

『コスモス』専用アドレス：[<kitakyushu\\_cosmos@yahoo.co.jp>](mailto:kitakyushu_cosmos@yahoo.co.jp)

代表者) 岡崎真弓 北九州市保健所 TEL 522-8726

FAX 522-8774

e-mail: [mayumi\\_okazaki01@city.kitakyushu.lg.jp](mailto:mayumi_okazaki01@city.kitakyushu.lg.jp)

